



2学期の始まりに



岩内西小学校長 佐古岡 香

記録的な暑さが続いた夏休みが終わり、学校に子どもたちの明るい声が響くようになりました。2学期初日の子どもたちは、自由研究や道具箱など大きな荷物を抱えて、久しぶりの学校にちょっぴり緊張した面持ちで登校してきました。

始業式において、次のような話をしました。

- ・ 2学期はとても長いこと。その間に新しい学習や活動が始まり、修学旅行や宿泊研修、学芸会や作品展などの行事があること。
- ・ この長い2学期に、各学級で「最高のクラス」を作ってほしいということ。いじめられたりいじめたりする人がいないクラス、一人一人に違いがあってそれを認め合えるクラス、好きなことや得意なことを頑張ることができて、頑張る人を応援するクラスにしてほしいこと。
- ・ 最高のクラスで、最高の思い出を作ってほしいということ。

2学期は集団としての高まりを期待し、私ども教職員もしっかりと支え導いていきたいと思います。

始業式の後には、各学級において自由研究発表が行われていました。ちょっぴり誇らしげに発表する姿、友達の発表を興味津々で聞く姿が各教室で見られました。夏らしい題材の作品はもとより、身近にある材料を利用して作ったもの、細かな工夫が施された工作や手芸、調べたことを写真やイラストを効果的に用いてまとめたものなど、楽しさ満載の力作ぞろいで驚きました。これらの素晴らしい作品はお家の方に協力していただいで完成したものと思います。ありがとうございました。

2学期が始まって一週間後、北海道は3回目の緊急事態宣言となりました。消毒、換気、密を避けるといった対策を徹底しながらの学校運営がまだまだ続きます。終わりの見えない状況ですが、できないことを嘆くよりできることを工夫して一歩ずつ前に進んでいこうと思います。保護者の皆様、地域の方々、今学期もどうぞよろしくお願いたします。

